

パルス発生装置 SD-050 注意事項（重要）

パソコンの電源をONしてからパルス発生装置用プログラムが起動しメニューが表示されるまでの間はパルス発生装置の出力端子から最大電圧／電流が出力されることがあります。従ってこの間は必ずパルス発生装置の出力端子にはなにも接続しないでください。

(1) 装置電源のONから使用開始までは次の順序で操作ください。

パルス発生装置本体，PC98パソコンの電源はOFFの状態です。2筐体間のケーブルを接続する。

なお、このときパルス発生装置の出力端子にはなにも接続してはいけません。

PC98ノートパソコンの電源を投入する。

PGEN・EXEプログラムをキーボードから起動する。（または自動的に起動される。）やがてパルス発生装置のメニューが表示されます。

パルス発生装置の電源を投入する

なお、このときパルス発生装置の出力端子にはまだなにも接続しないでください。

パルス発生装置メニュー上でパルスの出力条件を設定する。（または、セーブしたファイルを読み出す）

スタートさせてオシロスコープなどで波形確認を行う。

信号を受ける側の装置からパルス発生装置出力端子に電線を接続する。

スタートさせる

(2) 使用終了は次の順序で操作ください。

パルスの出力が停止している状態で

パルス発生装置の出力端子から外部へ接続している電線を取り外す。

パルス発生装置の電源をOFFする。

PC98ノートパソコン上のメニューで終了操作を行う

PC98ノートパソコンキーのSTOPを操作する。

PC98ノートパソコンの電源をOFFする。

(3) パルス発生が行える状態において、パルス出力信号端子から外部へ電線を接続したままでPC98ノートパソコンのリセット押し釦SWを操作しないでください。最大電圧／電流が出力端子に出力されます。

同じ状態で、PC98ノートパソコンの電源をON／OFFすることもしないでください。同様に最大電圧／電流が出力されます。

(4) パネルのLED（BATT）が点灯した場合は内蔵のバッテリーの電圧が規定値よりも低下しています。付属の充電器をパルス発生装置背面パネルの”充電”端子に接続し、充電してからご使用ください。充電器の赤色クリップを赤色端子に、黒色クリップを黒色端子に接続ください。

なおパルス発生装置の表パネルの電源SWをOFFにしないと充電できません。充電しながらの使用はできません。付属の充電器以外での充電は危険です。

(5) パルス発生装置にはバッテリーを内蔵していますので、落下その他衝撃を与えないよう注意ください。